

川崎競馬場入場ゲート更新及び運営業務委託に係る事業概要

1 概要

- 令和3年度の途中より、川崎競馬場ではインターネットによる予約システムを導入したところである。
- 予約システムの利用時には QR コード発行され、当日はユーザーがゲート前に設置された IPAD で読み取りを行っている状況である。
- 上記のオペレーションがわかりづらく、滞留が生じやすいこと、また現在利用しているゲートが令和5年3月に耐用年数を迎えることから、2次元バーコードを読み取る機能を付したゲートを設置することとした。

2 委託業務期間

- 契約の日から令和6年3月31日まで

3 予算

- 34,594千円（上限金額）

4 入札方式

- 公募型プロポーザル方式

5 導入する入場ゲートの概要

(1) ゲートの仕様

- 各入場門において、以下のとおりゲートを設置すること。
 - ・ 第一入場門 5台
 - ・ 馬場内入場門 3台
- 入場時のバーコードが適切に読み取れるものであること。
- 各入場門のうち、1通路はバリアフリー基準を満たす900mmを確保すること。
- 各入場門のうち、最低1台はコインゲートでの対応が可能とすること。

(2) 予約システムとの連携

- 受注者は予約システムの取り扱い事業者（令和5年度までは、株式会社メタップス・ペイメント。）と連携し、予約システムで発券する2次元バーコードをゲートに取り付けた機器により読み取れるようにすること。
- 読み取り後、予約システムの管理画面から、当該チケットが「入場済」になるよう処理を行うこと。

(3) 自動券売機との連携

- 受注者は自動券売機の取り扱い事業者（令和5年度までは、株式会社メタップスペイメント。）と連携し、自動券売機とゲートの連携方法について提案を行うこと。
- ※ 自動券売機の発券時、2次元バーコードを付する処理が最も望ましいが、左記が難しい場合はその他ユーザーにとって支障のない方法を提案すること。
- ※ 上記処理関係で自動券売機を改修する場合は、本業務で費用処理を行うこと。

(4) その他

- 既存の入場ゲートの撤去費用は本業務で見込むこと。
- 予約システムを実施する事業者は、状況により変更になる可能性がある。
- その場合は変更後の事業者を発注者が受注者に速やかに連携するので、受注者は迅速に当該事業者と連携し、システムの改修を行うこと。

5 その他調整すべき事項

- 入場ゲートそのものも通信を行う必要があることから、インターネット通信環境を整える必要がある。
- 上記に関しては、発注者が施設管理事業者（株式会社よみうりランド）と別途調整する。